

氏名	<p>畠田 智</p> <p>SHIMADA Satoshi</p>
所属 職名 学位 専門分野	<p>人間文化創成科学研究科自然・応用科学系</p> <p>准教授</p> <p>博士(理学)2000年</p> <p>植物系統進化学/Plant Phylogeny &amp; Evolution</p>
URL	<a href="http://bios.cc.ocha.ac.jp/Shimada/member/figs/framepage8.html">http://bios.cc.ocha.ac.jp/Shimada/member/figs/framepage8.html</a>
E-mail	<a href="mailto:shimada.satoshi@ocha.ac.jp">shimada.satoshi@ocha.ac.jp</a>

## 研究者キーワード / Keywords

海洋植物  
進化

Marine Plants  
Evolution

## 主要業績

Satoshi Shimada, Moe Nagano, Masanori Hiraoka, Kensuke Ichihara, Frederic Minerur & Wenrong Zhu. 2010. Phylogeographic analysis of the genus *Ulva* (Ulvales, Chlorophyta), including bloom sample in Qingdao, China. *Coastal Marine Science* 34(1): 117&#8211;122.

## 研究内容 / Research Pursuits

我々の生育するこの地球上には1千万種の生物種が生育していると考えられていますが、現在の所150万種類が認知されているにすぎません。この地球上にはまだ見ぬ生物種のほうが多いのです。いったいどんな生物種がいるのでしょうか？そもそも、それら多様な生物種はどのようにして多様化・進化してきたのでしょうか？このような素朴な疑問を解決すべく、海洋植物を研究対象に系統・進化・分類に関する研究を行っています。海洋植物は普段の生活では馴染みがなく、近年でも新属が見つかるなど陸上植物に比べて生物多様性の理解がまだまだ進んでいない生物群で、多様性生物学にとって宝の山です。アサクサノリ、カサノリなど綺麗な種が多いことも魅力的です。フィールドでの調査や培養実験・分子系統解析などで生物多様性の実体を把握し、それら生物多様性を生み出した環境適応分子進化についてさらに詳細な研究を行っています。

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

植物形態学・植物形態学実習・植物学野外実習・植物系統進化学などを担当。光合成をおこないそれによって酸素を発生する生物（陸上植物と藻類）を一般には植物と呼ぶ。それらはクロロフィルaをもつという共通点を有するものの、その実体は互いに系統的にかけ離れ、形態的にも多様な生物の集合に過ぎない。植物の多様性はどのようにしてもたらされたのか？植物は生物界全体にどのように位置づけられるのか？といった疑問に対する答えを探りつつ、各植物群の形態的特徴およびそれぞれの類縁関係などについて概説する。

## ■ 研究計画

海洋植物における生物多様性の現状を理解し、生物多様化に関わった分子進化を明らかにする。それと同時に、絶滅危惧種などの海洋植物種の保全にも着手していきたい。

## ■ メッセージ

海洋に生育する植物の進化の謎にチャレンジし、絶滅危惧種の保全に向けた生態学的研究を一緒にしませんか？！